

鉄道研究会の本懐を遂げる(前号の記事で本会を遂げてしまい申し訳なかった！)

## 超短時間で走行写真を撮りに行く

By ふちんかん

鉄道趣味にも色々ある。私は乗り鉄であり、模型鉄であり、そして撮り鉄である。その中でも撮り鉄歴が40年超えと最も古く、ライフワークのひとつとなっている。

WOOの取材行も、鉄道研究会としてできるだけ鉄分を加味することは必要であると考えている。しかし今回の取材は久々の車利用であり、目的地への「乗り鉄」成分が無い。その分を何らかで補いたいという欲求が自分の中にあった。つまり「撮り鉄」成分を取材に入りたいとどこかで思っていた。しかし限られた時間の中で取材陣全員を引き連れてまで「撮り鉄」したいとは思わない。

そこで取材陣が貴志駅の佇まいを味わっている時間を利用して、単独行で「撮り鉄」することにした。

場所は終点・貴志駅の一駅前の甘露寺駅周辺とする。往路でハスの花がきれいに咲いているのを見つけたからである。私は前回の和歌山電鐵取材(2012年)で、単独で貴志駅から甘露寺駅まで歩いており、甘露次駅周辺で走行写真も撮っている。そのときは、キショウブを前景とした写真→→を撮ったのだが、周辺はレンコン畑でありハスが咲いていたら、という思いがあった。今回車中からハスの花が咲いているのを見つけたときは、運命的なものを感じたものだ。



ということで今回、甘露寺駅周辺で「撮り鉄」することは、私の中では必然的となったわけだ。

さて、その前に走行写真撮影のポイントを解説しよう。何気ない写真の中にも、撮影者の様々な思いと準備が隠されているのである。

まずは「列車全体が写るか」である。走行の迫力感を出すためには、列車の一部のアップを取る場合もあるが、基本は全体の撮影である。そのためには…

1. 床下が隠れないか 2. 架線柱やケーブルが重ならないか 3. 何両編成で来るのかをチェックする。特に何両編成であるかの情報は重要で、それによってどの範囲を写すのか、つまり画角=レンズの焦点距離が決まる。その上で、このあたりに正面が来たとき、列車全体が画面に入り、画面内のバランスも良く、架線柱も列車のつなぎ目にくる…という構図を決めることになる。

次は「シャッタースピード」である。走行写真は基本、記録写真の性格を持つので、写真的な技巧表現よりは目的とするものをきっちりと写すことが求められる。そのためには「手ぶれ」は論外として、「被写体ぶれ」つまりシャッターが開いて

いる間に列車が動いていることを感じさせるような写真はだめなのである。つまり高速のシャッター速度を選択する必要がある。これには

1. 被写体までの距離 2. 列車速度の予測  
の把握が必要である。距離が遠く・列車が遅ければシャッター速度は遅くても良いし、距離が近く・列車が速ければ高速シャッターが必要となる。

3つめは「光線状態」である。

基本は逆光にならない、少なくとも見せたい部分(多くは正面)が影にならないかをチェックする。ただ背景や構図を優先すれば逆光での撮影になることも多い。この場合は露出補正をかけ、多少周囲が明るく写っても列車が黒く写らないようにする。かといって露出補正のやり過ぎも不自然なのでバランスが難しい。

4つめは「背景・前景」である。周囲の景色を取り入れた走行写真は「乗り鉄」の心を揺すぶる。写真は絵と違って有るものを全て写してしまうので、構図を工夫したり、絞りの値を調節することで前景や背景をぼかしたりする。

5つめは「目的とする写真を撮影するための機材」の準備である。

1. カメラ 2. レンズ(主に望遠) 3. 三脚やフィルター などである。

最後に総合判断として「テーマ」である。

けっきょく写真から何を語るのか、読み取ってもらいたいのか ということ。

今回のテーマは「季節感」と「ローカル線」である。季節感の表現としてはハスの花を前景に添える。ローカル線の表現としては、レンコン畑の中をたった2両の列車が走る様を画面の中に納める、列車だけが主ではなく、ハスの花と列車がともに主となるような大きさのバランスを取る。この二つの要素を最優先するために逆光の光線状態や中途半端な位置での架線柱の処理はあきらめる。ただし手ぶれや傾いた構図などは写真として論外なので、写真として当たり前のことは守る。

以上のことを、考えながら撮影地に着いてからもあちこち動き回り、しゃがんだり、カメラを頭上に掲げたりして最適な構図を探す。



で、撮影したのが、この写真。

←←←

薄曇りも幸いして、完全な逆光ながら、ハスの花と列車の両方が写っている(若干ハスの花は白く飛んでいる)。

撮影後、満足感もそこそこに急いで駅へ。この列車が次の貴志駅で折り返して、やってくるまでに駅に戻らねばならぬ。

 **Challenge 21**